

団体紹介2

「観る・あそぶ・つながる」

久喜おやこげきじょう

運営委員長

岡戸 昌美

久喜の地に誕生してこの秋で三〇年めに入ります。生の舞台を観る”みんなである”に活動を続けています。 “観る”とは、プロによるお芝居・人形劇・コンサートなどを身近なホールや公民館



で観たり聴いたりしています。目の前で繰り広げられる生身の人間が演じる世界は私たちの五感を刺激し、心を揺り動かします。そしてその体験は思いやりや想像力を育てることにつながっていると実感しています。

“あそぶ”ではいろいろな活動がありますが、どれも自分（子どもも大人も）がやりたいと思ったことを仲間と一緒に考え、話し合うことを大切に作っています。春には、子どもが店長のお店がなぶ「こどもまつり」を行っています。今年はいきほーさんとコラボして、外でいろいろな遊びの場を作ることができ、たくさんの子どもの笑顔に出会いました。

“つながる”では地域の子どもたちに文化を届ける活動として、秋に「こどもライブフェスタ」を行っています。この活動は県内の子ども劇場おやこ劇場と共に続けて十三年めになります。去年は久喜

特別支援学校の体育館をお借りして『びりとブッチィ』というクラウンパフォーマンスをいろいろな年代で、障がいのある方もみんな一緒に楽しみました。今年は十一月十日に栗橋文化会館で『TAR DO エキサイティング・シヨータイム』を計画しています。タップダンスやジャグリングなどの究極の技がみられるシヨータイムです。ライブな体験、ライブの感動をぜひ一緒に



に！
連絡先
久喜市北青柳四五九—一
0480—22—7696

【編集後記】

女と男いきいきネットワーク久喜ができて十六年目を迎えます。この間、女性の社会進出、男性の育児や家事への参加、LGBTへの理解等々、社会はずいぶん変わったように思いましたが、先日『第二次久喜市男女共同参画行動計画』を見て、ビックリ！「固定的性別役割分担意識」に賛成の人が、平成二十二年は26.2%だったのが、平成二十八年には25.7%と少しながら増えているのです。また、社会全体の中で男女平等と感じる人の割合は17.6%、職場の中で男女平等と感じる人は24.0%。市の男性職員の育児休業所得率は、なんと0%！まだまだですね…！ (K)

【発行】
女と男いきいきネットワーク久喜
代表 内海弘美(21)8825

女と男いきいきネット

女と男いきいきネットワーク久喜・通信第31号 2019, 6, 21 発行

総会記念講演



「久喜市の教育現場における取組について」

講師 久喜市教育長 柿沼光夫氏

四月十九日、女と男いきいきネットワーク久喜第十六回総会が開かれ、記念講演として久喜市教育長・柿沼光夫氏から『久喜市の教育現場における取組について』という題でお話を伺いました。

子どもの数の減少と統廃合

近年の少子化問題は国レベルでの大きな問題ですが、久喜市でも児童生徒数が大幅に減少しています。小中学生の数が、昭和六十年には二万一千三百七人だったのが、平成三十一年には一万〇六六八人と、半減しました。特に少ないのが、江面第二小四十八名、上内小六十六名、菖蒲南中百十名で、これらの学校は統廃合が進められている状況です。こうした子どもの数の減少は、

子ども同士が切磋琢磨し社会性を育みながら成長していくという機会を減少させ、自立したたくましい若者へと育っていくことをより困難にする、とも言われています。また、地域における学校の存在・子どもの存在は、地域コミュニティの活力の源となるものであり、過疎化の中で地域の学校がなくなるとさらに過疎化に拍車がかかるという悪循環も生じるとの指摘もあり、この少子化問題＝学校の統廃合問題は、実に大きな問題をはらんでいると言えましょう。

新しい教育改革

グローバル化が進む中で、二〇二〇年には、小学三・四年生で年間三十五コマの「英語活動」が義務化され、五・六年生では国語や算数のよう

に「英語」が教科として時間割に加わり成績も付くということになります。それに伴い、久喜市では中学三年生の英語検定試験への受験料補助が始まるとのことでした。

また、新学習指導要領では、自らプログラミングを駆使し、



「〇」技術などを創出すること
ができるような人材の育成を
目指した「プログラミング教
育」が新たに位置づけられま
すが、その県のモデル校とし
て太田小学校と太東中学校が
選ばれました。近隣の工業系
高校や大学・民間企業等と連
携しながらプログラミング言
語の習得及び技能を生かして
ロボットを製作するなど発展
的プログラミング教育の研究
を行っているそうです。

現在、各校にタブレット端
末が整備され、「アクティブラ
ーニング(主体的な学び)」の
考えに基づいた授業を展開し
ているというお話も伺い、本
当に時代は変わりつつあるの
だなあ、と実感しました。

いじめ問題への対応

一方、全国的に問題になっ
ているいじめ問題は、久喜市
ではどのような状況でしょう
か？下記の図①は、ここ何年
かの認知件数・解消件数です。
久喜市では、平成二十七年に
「久喜市いじめの防止等のた
めの組織に関する条例」を公
布し、「いじめ問題対策連絡協

図①	H27	H28	H29	H30 ² 学期 迄
小学校認知数	294件	437件	503件	672件
解消件数	283件	433件	441件	449件
解消率	96.3%	99.1%	87.7%	66.8%
中学校認知数	68件	72件	87件	89件
解消件数	53件	71件	73件	61件
解消率	77.9%	98.6%	83.9%	68.5%

議会」「いじめ問題調査委員
会」「いじめ問題再調査委員
会」を設置しました。いじめ
はあるものと考え、見えない
ものにするのでなく、どう可
視化し解消していくかが大切
と捉えています。年々認知数
は増えていますが、これは
元々あったものが表面化して
きたものと言えるでしょう。
そして『解消』とは、「いじめ
に係る行為が止んでいるこ

と「被害児童生徒が心身の苦
痛を感じていないこと」の二
要素が満たされていることで
あり、その後解消率は一〇
〇%になっているということ
でした。

不登校児童生徒への対応

不登校児童生徒は図②のよ
うに年々増えています。久
喜市では相談・支援体制の充
実として平成二十八年度より
「心理専門員」「スクールソ
シャルワーカー」「適応指導教
室訪問指導員・相談員」を配
置し、これらの方々が学校の
巡回相談や保護者に対するカ
ウンセリング等の相談業務や
訪問指導を行い、未然防止・
解決を目指しています。また、
四箇所適応指導教室を開設
しています。

児童虐待問題等への対応

児童虐待も社会的に大きな

図②	小学校	中学校	合計
H27年度	22	56	78
H28	18	68	86
H29	13	66	79
H30(12月現在)	14	86	100

図③	身体的虐待	ネグレクト	性的虐待	心理的虐待	合計
H27	3	5	1	0	9
H28	4	2	1	2	9
H29	5	3	1	1	10
H30 1月現在					17

問題になっていますが、久喜
市の学校が児童相談所・児童
福祉担当課に通告した件数は、
図③です。学校及び教職員は、
児童虐待の早期発見に努め、
通告した児童相談所等と連
携・協力し対応にあたると同
時に、虐待防止のための教育
に努めているとのことでした。
また、子どもの貧困も現実
の問題で、教育委員会では①
久喜市本樹塾(無料の学習塾)
の開設、②ステップアップテ
ストを実施しています。
一方で、生涯学習としての
市民大学・高齢者大学の参加
者が減少しており、それは放
課後ゆうゆうプラザ、市民ま
つりの担い手不足につながり
ているとのことでした。

今回のお話を聞いて、
『子どもを地域で守
る』ために、私達市民
一人ひとりができる
ことを探し、実行して
いきたいと強く思い
ました。(文責・進藤)

団体紹介

「信じる力を支える力に」

久喜CAP代表

増田 知巳

いじめ、誘拐、体罰、わい
せつ事件、性暴力などが、連
日のように報道されています。
「子どもたちを守るために、
おとなは何ができるのか
な?」「もしも、子どもが被害
にあったら、どうしたらいい
い?」「子どもから相談され
たら、どう対応すればいい?」
などの心配や不安を、CAP
プログラムで、安心と笑顔に
変えてみませんか?
くきCAPは、子どもへの
暴力防止プログラム「CAP
プログラム」を埼玉県内で実
施している団体です。

CAPという言葉は、Child
Assault Prevention という

英語の頭文字をとったもので、
「子どもへの暴力防止」とい
う意味です。CAPプログラ
ムでは、従来の「くしてはい
けません」式の危険防止教育
とは異なり、子どもたちが本

来持つ力を信じて、「くするこ
とができるよ」と身を守るた
めの行動の選択肢を一緒に考
え、練習します。

子ども向けのワークショ
ップでは、最初に「安心」「自
信」「自由」という「子どもの
特別に大切な3つの権利」に
ついて知り、いじめや、虐待、
体罰、誘拐、連れ去り、チカ
ン、性暴力などのあらゆる暴
力から、自分の心とからだを
守るために、何ができるのか
を、短い劇と話し合いを通し
て、楽しく、わかりやすく学
んでいきます。暴力にあった
ときにできることは、NO
(「いや」と言う)・GO(逃
げる、その場を離れる)・
TELL(誰かに話す)など
です。

おとな向けのワークショッ
プは、学校、幼稚園、保育所
と家庭、地域の三者が協力し
て子どもたちを支えられるよ
う、「子どもワークショップ」
を行う場合には、必ず先に実

施します。子どもを孤立させ
ないよう、子どもの人権を尊
重して、問題解決力を引き出
すエンパワメントの支援のあ
り方を一緒に考えます。暴力
や虐待についての正しい知識
もし暴力にあっている子を見
つけたときどうすればよいか、
相談をされたときの話の聴き
方のコツなどについてもお話
します。「おとなワークショップ
」のみの実施は可能です。

【参加者の声】

●「告げ口」と「相談」の違
いについて、相談しやすい環
境や状況を作るためにも、2
つは違うということ子ども
に説明し、理解してもらった
ことが大切だと感じた。

●「やめて」と言えない、断
ることができない子に対して、
味方だよ、協力してあげたい
んだよと熱心に伝えようと思
う。また、そのサインに気付
いてあげたい。

●「いや」「やめて」というこ
との重要さは理解していたが、

「言えなくてもあなたが悪い
んじゃないやな
い」と伝え
ていなかっ
たので、今
後は伝えて
いきたい。



【応援サポーター&ご寄付
を募集中しています!】
私たちの活動を理解して
支えてくださる「応援サポ
ーター」を募集しています。年
会費は3000円です。また、
「フリージア事業」という子
どもワークショップ実施を補
助するための基金へのご寄付
も募っております。「フリージ
ア事業」は、白血病でなくな
った元代表「えんちゃん」が
好きだった花の名前から名づ
けました。ぜひご支援ご協力
お願いいたします。

●連絡先
電話 090-8104-7038(増田)
メール kuki_cap@yahoo.co.jp
HP <https://kukicap.jimdo.com>